

列車はいつ・どこで・どのように
襲撃されたのか？

別海・標津線空襲

北海道教育大学釧路校 境 智洋



別海・標津線空襲

境 智洋¹ ・ 山内 崇²
山内 斉³ ・ 綿引 太介⁴

- 1 : 北海道教育大学釧路校
- 2 : 羅臼町立羅臼小学校
- 3 : 別海町立別海中央小学校
- 4 : 弟子屈町立美留和小学校

語りつく北海道空襲 北海道新聞社

2007年8月15日 菊地 慶一



P337

「釧路鉄道管理局史」には標津線の春別駅付近で機関士の平野慶吉さんが機銃掃射で死亡したことが記録されている。

春別駅の駅手だった馬箆正之さん(当時38歳釧路町在住)の証言を得ることができた。

中標津発厚床行きの客貨車が**春別駅から出て三、四キロの地点**で敵機の攻撃を受け機関車が狙われた。上記タンクが敗れて吹き出す音が駅までも聞こえた。平野機関士が死亡、機関助手が背中にかすり傷、見張り人の兵士が大腿部を負傷したが、乗客に被害はなかった。

「空襲警報が出ているときは、機関室に見張り人を乗せることになっていました。機関士の後ろに立って警戒する役目なんです。私が乗ることになったのですが、丁度兵隊がいて交代しました。偶然に難を逃れたので忘れることはできませんよ」と語っている。

釧路鉄道管理局史 釧路鉄道管理局

1972年10月14日

P154



月日	所 属	職 名	氏 名	記 事
7.14	管 理 部	運 行 係	太田友吉	管理部庁舎被爆の際機銃弾により死亡
〃	〃	〃	佐藤泰勇	黒金町宿舎街で防犯指揮中直撃弾により死亡
〃	〃	機 関 士	平野慶吉	標津線春別—西別間で運転中機銃掃射で死亡
〃	〃	〃	渡辺善二	釧路本線遠矢—細間間で砂利散布中機銃弾で死亡
〃	標 保 区	線 路 工 手	横地玄之助	〃
〃	〃	〃	氏家清三郎	〃
〃	春 別 駅	転 て つ 手	松坂孝士	上り第496列車の伝令者として執筆中機銃弾で死亡
〃	〃	予備駅務掛	大野シズ子	春別駅電話交換手として執筆中機銃掃射で死亡
15	斜理機関区	機 関 士	山下利夫	釧路本線標茶—磯分間運転中直撃弾で死亡
〃	古 橋 駅	予 備 助 役	石山由次郎	(現浜小清水駅)当駅勤務中待合室に落ちた爆弾で死亡

7月14日 釧路機関区所属 機関士 平野慶吉
標津線春別—西別間で運転中機銃掃射で死亡

道東学序説

道東文化を語る会

2006年8月

菅原真一

P263

道東学序説

菅原真一

次に中春別空襲について述べよう

中春別の菅原タエさんに証言してもらう

「私は当時29歳だった。…朝の10時過ぎだったと思う。いつもなら10時頃中春別から西別へ向かう汽車がいつまでたっても駅に止まったままだ。…駅長の石岡さんが発車を止めてもう5分様子を見て、もういいだろうと判断して発車させた。発車して3分も経ってない。春別駅のすぐそばの3キロくらい先の**十多郎川の付近**で西春別方面から来たグラマンの機銃掃射を受けた。蒸気タンクが破壊し蒸気が飛び散った。国鉄機関士の平野慶吉さんが即死、乗客の中崎さんは客車から降りてヤチに逃げて助かった。機関助手が背中にかすり傷を負い見張りの兵士が足を負傷した。お客さんは数十人いたがなんとなかった」

藤倉弘さん

聞き取り 別海中央小学校 教諭 山内 斉さん
1996年10月

床丹三の川橋梁で

7月15日・・・(中略)



ここに(床丹三の川橋梁)ちょうど差し掛かった時に、東の方、あっちの点々とある雲あるけどもちょうど、あっちの方向に一面に雲がかかっていたわけさ。ずーっと、大きく。それだもんだから、(艦載機が)雲の中をのってきてるもんだから、爆音らしい爆音はほとんど汽車のぼっぼっぼという音で、聞こえなかった。そしたら、雲からでた瞬間に降りてきたもんだから、車掌さんに爆音とか敵機きたとか言う暇がないくらい急降下だから。逃げてる余裕もないよね。最初にあたったのは、もうちょっと前の方、(汽車が)止まったのが、そこ。橋にきたときにもうあたった。それから止まるまでの間は、そこ(橋の反対側)まで進んだ。撃たれた機関士さんはね、死んだと思わなかった。見た時には、ただそのまま、よしかかっているだけで、全然前にもたれてなかった。もう一人の方も、倒れてないんだから。それで、兵隊さんが飛び降りた。そしたら今度、敵機があっちいってしまったし、デッキから見たらそこに一人倒れているからとことで、そこへ行った。それでもまだ気が付かなかった。死んでももんだか、生きてるもんだか。車掌さんが見て、死亡したって確認した。貫通した箇所が2か所、あとえぐられた箇所が1か所。乗客の人数が少なかったから、山へ逃げたけども、混雑もなく、わずかな人数だったから逃げれたけども。あれでいっぱいだったら大騒ぎだったわ。貫通するだけの勢力だもんな。あの客車のあれ(壁)ぐらいなんも。こんな(鉄橋)に厚くないバ、鉄板というか。このときは、命拾いました。

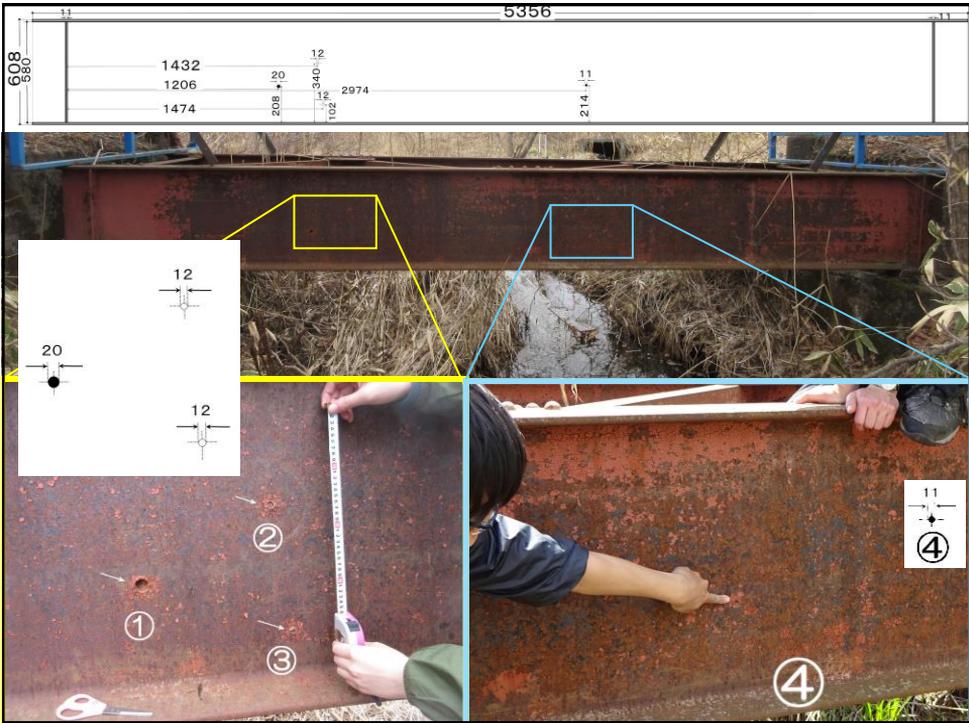
銃撃場所と時刻・状況の証言比較

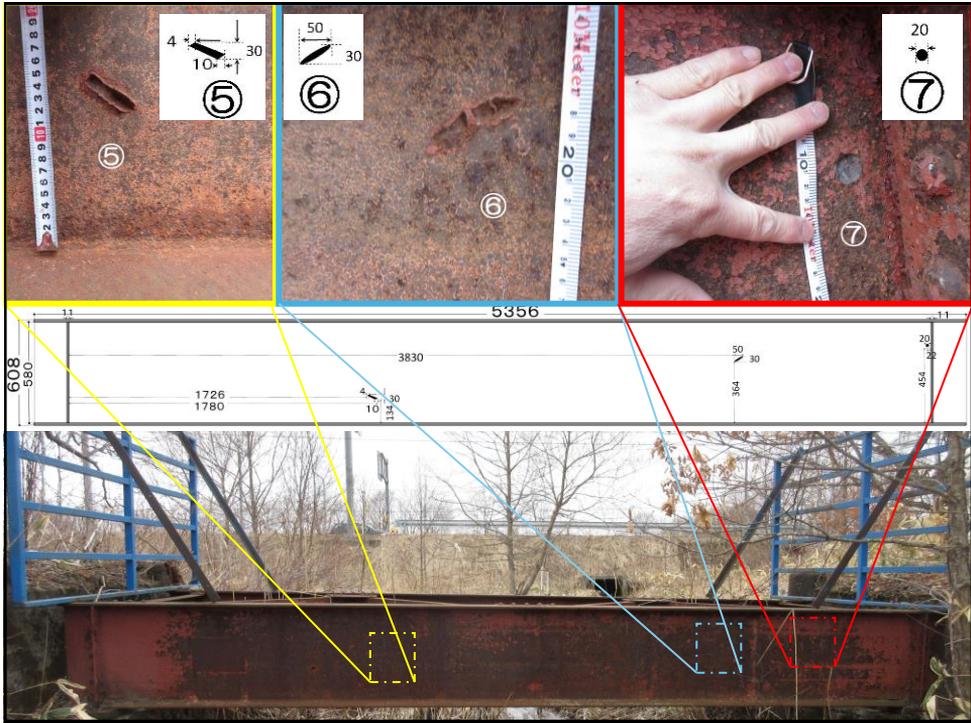
	語り継ぐ北海道空襲	道東学序説	聞き取り
証言者	馬籠正之さん(駅手)	菅原タエさん(住民)	藤倉弘さん(乗客)
証言による場所	春別駅から3~4キロ	春別駅から3キロ (十多郎川付近)	春別駅から7~8キロ (床丹三の川付近)
目撃場所	春別駅	春別駅	列車の中
機関車	蒸気タンクが破れて、吹き出す音が駅まで聞こえた	蒸気タンクが破壊し蒸気が飛び散った。	春別側で銃撃、その後、鉄橋付近で停止した
月日	7月14日	7月14日	7月15日
時刻	中標津発厚床行の列車	朝の10時過ぎだった	
状況	敵機の攻撃を受け機関車が狙われた	西春別方面から来たグラマンの機銃掃射を受けた	(東側を指さして)雲から出た瞬間に降りてきた

場所……重太郎川周辺・床丹三の川
 現地から場所を特定する
 時刻……当時の時刻表
 どのように









19.10.11 改正 厚床・中標津間 (標準線) 3等車

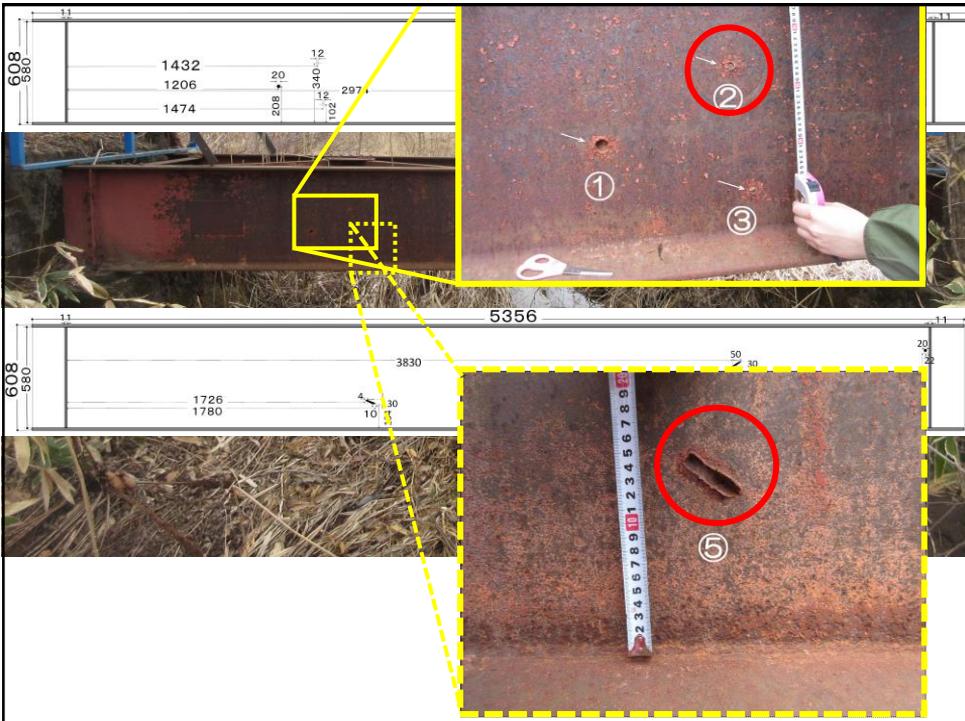
行程	駅名	41	43	45	47	49	51	53	55	57	59	61
0.0	厚床	9 47	13 40	17 06	20 25	23 00	25 47	28 30	31 17	34 00	36 47	39 30
11.5	厚奥行白	//	10 12	14 08	17 26	20 47	23 12	25 58	28 33	31 17	34 00	36 47
23.8	厚西奥行白	//	10 45	14 56	17 55	21 14	23 37	26 00	28 33	31 17	34 00	36 47
35.4	厚奥行白	//	11 18	15 06	18 23	21 41	24 00	26 33	29 00	31 17	34 00	36 47
47.5	厚中奥行白	//	11 45	15 33	18 51	22 06	24 30	26 53	29 00	31 17	34 00	36 47

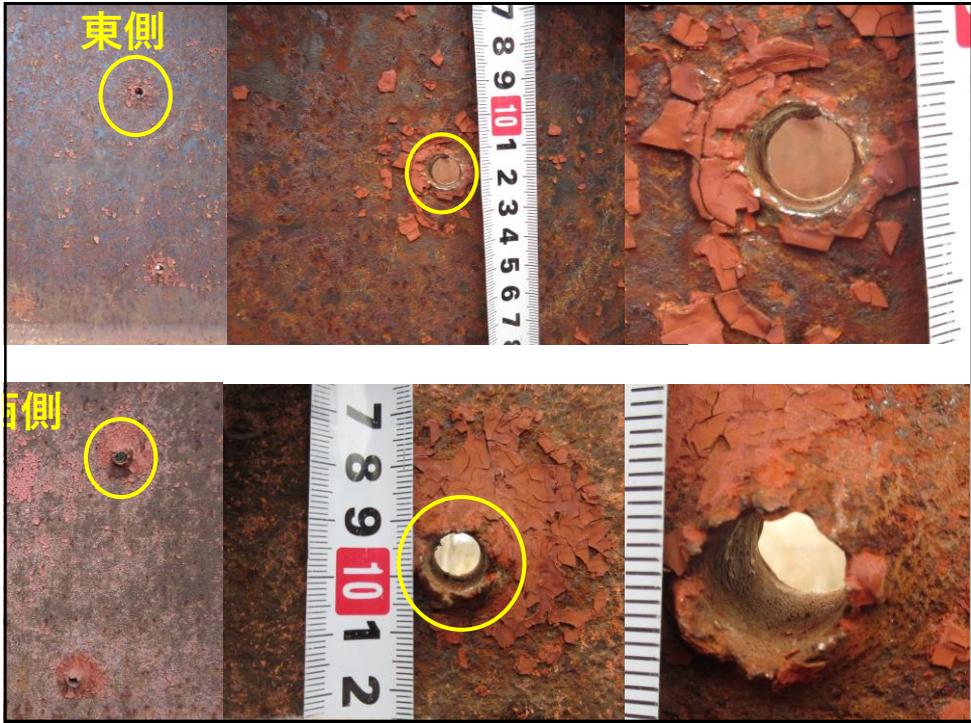
駅名	40	42	44	46
厚中奥行白	6 00	9 42	13 33	17 24
厚奥行白	6 26	10 15	14 03	17 24
厚西奥行白	6 56	10 43	14 38	17 57
厚奥行白	7 23	11 11	15 00	18 26
厚床	7 47	11 35	15 30	18 50

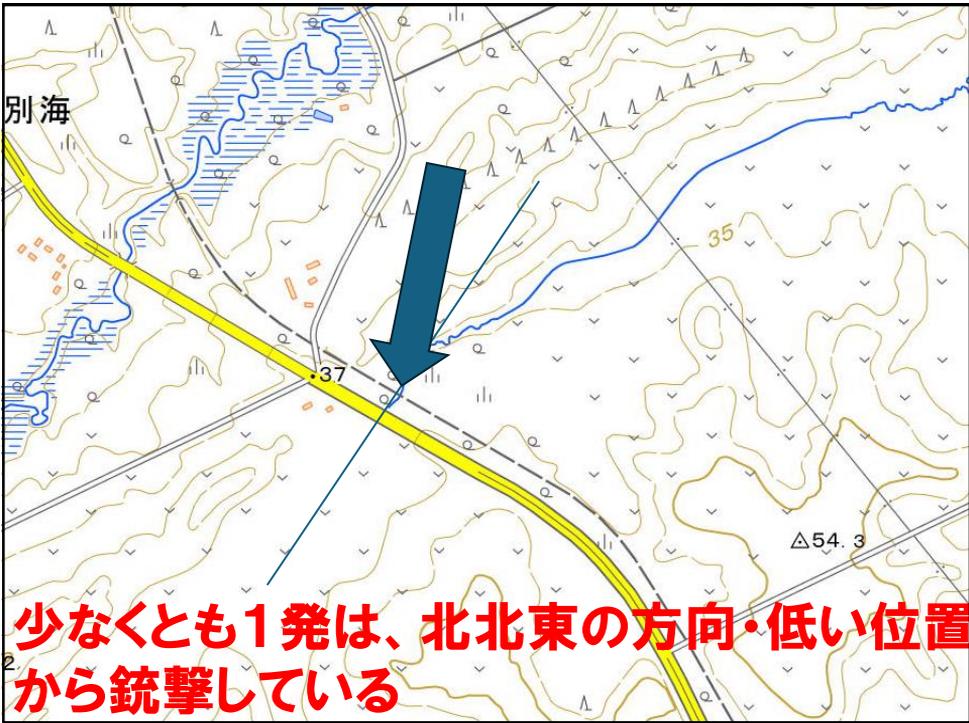
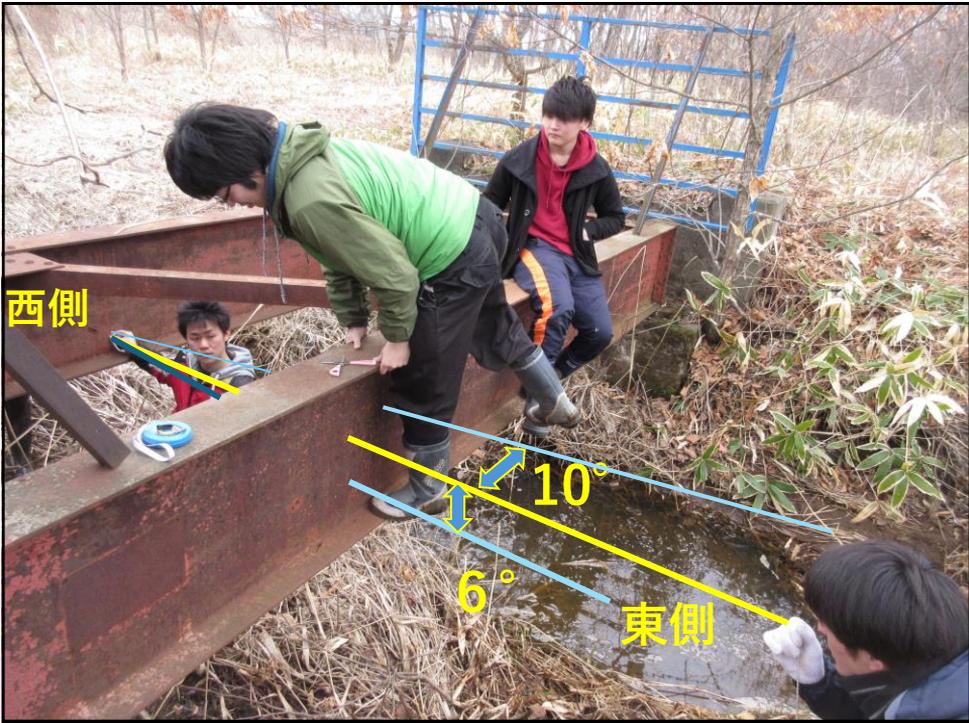
銃撃場所と時刻・状況の証言比較

	語り継ぐ北海道空襲	道東学序説	聞き取り
証言者	馬籠正之さん(駅手)	菅原タ工さん(住民)	藤倉弘さん(乗客)
証言による場所	春別駅から3~4キロ	春別駅から3キロ (十多郎川付近)	春別駅から7~8キロ (床丹三の川付近)
目撃場所	春別駅	春別駅	列車の中
機関車	蒸気タンクが破れて、吹き出す音が駅まで聞こえた	蒸気タンクが破壊し蒸気が飛び散った。	春別側で銃撃、その後、鉄橋付近で停止した
月日	7月14日	7月14日	7月15日
時刻	中標津発厚床行の列車	朝の10時過ぎだった	
状況	敵機の攻撃を受け機関車が狙われた	西春別方面から来たグラマンの機銃掃射を受けた	(東側を指さして)雲から出た瞬間に降りてきた

場所……床丹三の川（ほぼ確実）
 時刻……いつ(？)、朝の10時頃(？)
 どのように……銃弾の方向から探る







銃撃場所と時刻・状況の証言比較

	語り継ぐ北海道空襲	道東学序説	聞き取り
証言者	馬箒正之さん(駅手)	菅原タエさん(住民)	藤倉弘さん(乗客)
証言による場所	春別駅から3~4キロ	春別駅から3キロ (十多郎川付近)	春別駅から7~8キロ (床丹三の川付近)
目撃場所	春別駅	春別駅	列車の中
機関車	蒸気タンクが破れて、吹き出す音が駅まで聞こえた	蒸気タンクが破壊し蒸気が飛び散った。	春別側で銃撃、その後、鉄橋付近で停止した
時刻	中標津発厚床行の列車	朝の10時過ぎだった	
状況	敵機の攻撃を受け機関車が狙われた	西春別方面から来たグラマンの機銃掃射を受けた	(東側を指さして)雲から出た瞬間に降りてきた

場所……床丹三の川 (ほぼ確実)

時刻……朝の10時頃 (?)

どのように……1発は北北東低い位置から銃撃

アメリカ報告書から探る……

アメリカ軍 北海道空襲の報告書「Action Reports」

CONFIDENTIAL

I. GENERAL

(a) Unit Reporting: VF-6 (b) Based on: USS HANCOCK (c) REPORT VEF-6 #60
VBF-6 (d) Take off: Date 14 July 1945 Time(s): 0400(I)
VF-6 #48

Lat. 41° 00' N. Long. 143° 27' E.

(e) Mission: Sweep Baker over Eastern Hokkaido (f) Time of Return: 0830(I)
Plain.

II. OWN AIRCRAFT OFFICIALLY COVERED BY THIS REPORT.

TYPE	SQUAD	NUMBER			BOMBS, ROCKETS & TORPEDOES Carried (per plane) size & type	FUZE DELAYS, TORPEDO SETTINGS
		TAKING OFF	ENGAGING ENEMY A/C	ATTACKING TARGET		
(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)	(g)
F6F-5	VF-6	8	None	7	4 Planes - 6 HVAR's	-
F4U-4	VEF-6	4	None	4	4 Planes - 4 HVAR's	W/Mk 149 Inst. Nose

作戦の日時は1945年7月14日

部隊が発進した位置は北緯41度00分 東経143度27分 (襟裳岬沖100km)

母艦(ハンコック)を発進した時刻は04時00分

母艦に帰還した時刻は08時30分

当初の任務は、道東への炎上掃討。

部隊を編成しているのは、**F 6 F - 5 ヘルキャット 8機**の戦闘機隊(ロケット弾を6発ほど装備している。)と、**F 4 U - 4 コルセア 4機**の戦闘爆撃機隊(4機にロケット弾を4発ほど装備している。)である。

(b) Time Over Target(s) 0545(I) (c) Clouds Over Target: Scattered, 5000'
 Scattered, 2000' and overcast.

(d) Visibility of Target: Clear to foggy (e) Visibility: 8 to 10 Miles

(f) Bombing Tactics-Type VT Bomb Sight Used: VB VBF
 VF VT VF

(g) Bombs Deopped per run per plane Spacing VT
 VBF VF VT VB VB

Altitude of Bomb Release:
 VBF VF VT VB

(g) No. of Enemy A/C hit on Ground: Destroyed 1 Prob. Destroyed None

Damaged None

(b) AIMING POINT	(c) DIMENSIONS or DECOMPS	(d) No. A/C Attacking (E) EQUIPMENT	(f) COURSE 1' SPEED, 2' ALTITUDE, 3' TYPE & P/BRS USED	(g) RESULTS of Missions	(h) No. Hits on Aiming Point	(i) DAMAGE
1. Locomotive, East of Enbetsu A/P	1	1	2 HWAR's	None	2	Serious
2. Revolving, S.E.-W.E. Enbetsu #1	5	5	6 - .50 Cal. M/G	Undet.	Undet.	Undetermined
3. Four gasoline tanks - Shikazu w/ 4. Buildings S.E. side of field, Shikazu #1	1	1	6 - .50 Cal. M/G	Undet.	Undet.	Undetermined
5. Warehouse, Shikazu #1	1	1	3 - HWAR's	Undet.	Undet.	Undetermined
6. Revolving, Covered, Shikazu #1	1	1	2 - HWAR's	Undet.	Undet.	Undetermined
7. Warehouse, Shikazu #1	2	2	4 - HWAR's	Undet.	Undet.	Undetermined
8. Warehouse, Shikazu #1	1	1	2 - HWAR's	Undet.	Undet.	Undetermined
9. Misc. Buildings Zone of Enbetsu	4	4	50 Cal. AA's	Undet.	Undet.	Undetermined
10. Gasar (Silver colored) Shikazu #1	1	1	6 - .50 Cal. M/G	Undet.	Undet.	Destroyed
11. Warehouse, Shikazu #1	1	1	6 - .50 Cal. M/G	Undet.	Undet.	Undetermined
12. Freight yard, Shikazu #1	2	2	Staffing	2	2	Serious, burning
13. Locomotive, Freight yard	1	1	Staffing	2	2	Moderate
14. Train, Shikazu and Enbetsu	2	2	Staffing	2	2	Moderate
15. Small train, Nohai	2	2	Staffing	Yes	2	Destroyed
16. Small train, Nohai	2	2	Staffing	Yes	2	Serious, burning

攻撃の目標は臨機目標に変更された。目標の上空へ到達した時間は05時45分である。目標は明確であった。霧がかかっていた。
※出発4:00 ※目標到着 5:45(1時間45分) ※帰還8:30

(b) Time Over Target(s) 0545(I) (c) Clouds Over Target: Scattered, 5000'
 Scattered, 2000' and overcast.

(d) Visibility of Target: Clear to foggy (e) Visibility: 8 to 10 Miles

(f) Bombing Tactics-Type VT Bomb Sight Used: VB VBF
 VF VT VF

(g) Bombs Deopped per run per plane Spacing VT
 VBF VF VT VB VB

Altitude of Bomb Release:
 VBF VF VT VB

(g) No. of Enemy A/C hit on Ground: Destroyed 1 Prob. Destroyed None

Damaged None

(b) AIMING POINT	(c) DIMENSIONS or DECOMPS	(d) No. A/C Attacking (E) EQUIPMENT	(f) COURSE 1' SPEED, 2' ALTITUDE, 3' TYPE & P/BRS USED	(g) RESULTS of Missions	(h) No. Hits on Aiming Point	(i) DAMAGE
1. Locomotive, East of Enbetsu A/P	1	1	2 HWAR's	None	2	Serious
2. Revolving, S.E.-W.E. Enbetsu #1	5	5	6 - .50 Cal. M/G	Undet.	Undet.	Undetermined
3. Four gasoline tanks - Shikazu w/ 4. Buildings S.E. side of field, Shikazu #1	1	1	6 - .50 Cal. M/G	Undet.	Undet.	Undetermined
5. Warehouse, Shikazu #1	1	1	3 - HWAR's	Undet.	Undet.	Undetermined
6. Revolving, Covered, Shikazu #1	1	1	2 - HWAR's	Undet.	Undet.	Undetermined
7. Warehouse, Shikazu #1	2	2	4 - HWAR's	Undet.	Undet.	Undetermined
8. Warehouse, Shikazu #1	1	1	2 - HWAR's	Undet.	Undet.	Undetermined
9. Misc. Buildings Zone of Enbetsu	4	4	50 Cal. AA's	Undet.	Undet.	Undetermined
10. Gasar (Silver colored) Shikazu #1	1	1	6 - .50 Cal. M/G	Undet.	Undet.	Destroyed
11. Warehouse, Shikazu #1	1	1	6 - .50 Cal. M/G	Undet.	Undet.	Undetermined
12. Freight yard, Shikazu #1	2	2	Staffing	2	2	Serious, burning
13. Locomotive, Freight yard	1	1	Staffing	2	2	Moderate
14. Train, Shikazu and Enbetsu	2	2	Staffing	2	2	Moderate
15. Small train, Nohai	2	2	Staffing	Yes	2	Destroyed
16. Small train, Nohai	2	2	Staffing	Yes	2	Serious, burning

- 1 計根別飛行場東の機関車 (大破)
- 2 計根別飛行場の南東・北東の掩体壕 (効果不明)
- 3 標津第一飛行場の燃料車...4台 (効果不明)
- 4 標津第一飛行場の南東側の建物群 (効果不明)
- 5 標津第一飛行場の兵舎群 (効果不明)
- 6 西春別飛行場の有蓋掩体壕 (効果不明)
- 7 標津第2飛行場の自動車 (効果不明)
- 8 茶志骨の町の各種建物 (製材所で火災発生)
- 11 標津第2飛行場の格納庫 (大破、炎上)
- 12 標津第一・第2飛行場貨物地区 (中破)
- 13 貨物地区の機関車 (中破)
- 14 標津・計根別間の列車 (中破)
- 15 別海の機関車 (破壊、機関車一両が爆発)
- 16 別海の小型船 (大破、炎上)

Target	Weapon	Result	Remarks
13. Locomotive, Freight Yard	VBF-6 (1)	Strafing	Yes Moderate
14. Train, Shibetsu and Kenebetsu	VBF-6 (2)	Strafing	Yes Moderate
(c) RESULTS			
15. Locomotive, Bekkai	VBF-6 (2)	Strafing	Yes Destroyed
16. Small boat, Bekkai	VBF-6 (4)	Strafing	Yes Serious, Burning

- 13 貨物地区の機関車 VBF-6(1) 機銃掃射 (中破)
- 14 標津・計根別間の列車 VBF-6(2) 機銃掃射 (中破)
- 15 別海の機関車 VBF-6(2) 機銃掃射 (破壊、機関車一両が爆発)
- 16 別海の小型船 VBF-6(4) 機銃掃射(大破、炎上)

第二次大戦機 新アーカイブ
F4U コルセア
Vought
F4U Corsair
DVD
65分
飛行機から
操作まで
完全再現
シミュレーション

ヴォードF4U-4 (コルセア)

(1944年10月初飛行)

F6F-5
F4U-4

最大速度 718km/h
主翼内に12.7mm機銃を片翼3挺
(鉄橋の穴 12mm)

I. GENERAL CONFIDENTIAL

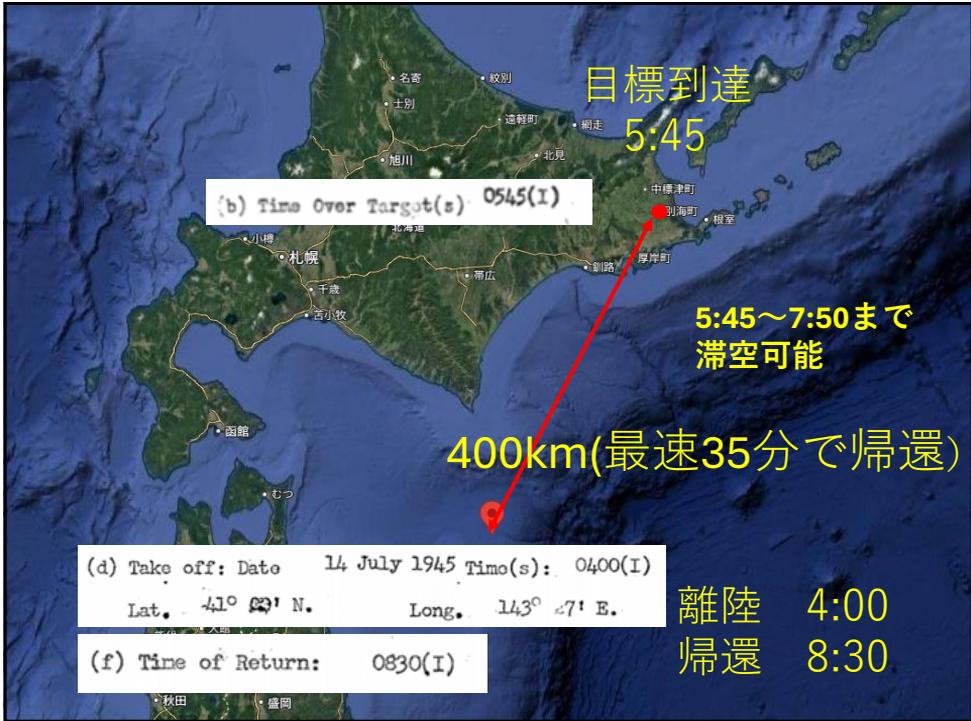
(a) Unit Reporting: VP-6 (b) Based on: USS HANCOCK (c) REPORT VP-6 #60
 VP-6 #18

(d) Take off: Date 14 July 1945 Time(s): 0400(I)
 Lat. 41° 02' N. Long. 143° 47' E.

(e) Mission: Sweep Baker over Eastern Hokkaido (f) Time of Return: 0830(I)
 Plain.

II. GEN AIRCRAFT OFFICIALLY COVERED BY THIS REPORT.

TYPE	SQUAD	NUMBER	TAKING OFF / ATTACKING		ROCKETS & TORPEDOES Carried (per plane) size & type	FUZE DELAYS, TORPEDO SETTINGS
			OFF	ATTACKING		
F6F-5	VP-6	8	None	7	4 Planes - 6 HVAR's	
F4U-4	VP-6	4	None	4	4 Planes - 4 HVAR's	W/In 1/9 Inst. None



銃撃場所と時刻・状況の証言比較

	語り継ぐ 北海道空襲	道東学序説	聞き取り	アメリカ 報告書
証言者	馬籠正之さん(駅手)	菅原タエさん(住民)	藤倉弘さん(乗客)	
証言による 場所	春別駅から3~4キロ	春別駅から3キロ (十多郎川付近)	春別駅から7~8キロ (床丹三の川付近)	
目撃場所	春別駅	春別駅	列車の中	
機関車	蒸気タンクが破れて、 吹き出す音が駅まで聞こえた	蒸気タンクが破壊し蒸 気が飛び散った。	春別側で銃撃、その後、 鉄橋付近で停止した	別海の機関車 (破壊、 機関車一両が爆発)
時刻	中標津発厚床行の列車	朝の10時過ぎだった		5:45(空母から1時間45 分)帰還が8:30(性能的に 7:50まで可能)なので、 7:00頃には空母に帰還と 考える
状況	敵機の攻撃を受け機関 車が狙われた	西春別方面から来たグ ラマンの機銃掃射を受 けた	(東側を指さして)雲か ら出た瞬間に降りてき た	VBF-6(F4U-4 コ ルセア) 2機

場所・・・床丹三の川 (ほぼ确实)

時刻・・・5:45~7:00の間

どのように・・・1発は北北東低い位置から銃撃
機関車に命中、2機が旋回し12.7mm機銃で機銃掃射を行う

19.10.11 改正		厚床・中標津間 (標津線)					3 等車				
行程	駅名	41	43	45	47	時分	駅名	40	42	44	46
0.0	厚床	9 47	13 40	17 00	20 23	0.0	中標津	6 00	9 42	13 53	18 54
11.5	奥行白	//	10 12	14 05	17 26	12.1	西別	//	6 26	10 15	14 03
23.8	下西別	//	10 45	14 36	17 55	23.7	奥行白	//	6 56	10 43	14 38
35.4	下中標	着	11 18	15 06	18 23	36.0	厚床	着	7 23	11 11	15 08
47.5			11 45	15 33	18 51	47.5			7 47	11 35	15 30

菅原証言…いつもなら10時頃中春別から西別へ向かう汽車がいつまでたっても駅に止まったままだ。…駅長の石岡さんが発車を止めてもう5分様子を見て、もういいだろうと判断して発車させた。

場所…床丹三の川 (ほぼ確実)
時刻…5:45~7:00の間
 どのように…1発は北北東低い位置から銃撃
 機関車に命中、2機が旋回し12.7mm機銃で機銃掃射を行う

根室空襲

根室空襲研究会
根室空襲研究会編 (1993年)

根室空襲

空襲によって、亡くなった方の死亡診断者や被害者名簿には被災場所及び時間が記載

平野慶助(当時41歳)
別海村平線鉄道7月14日(午前6時45分頃)

と記載されている。

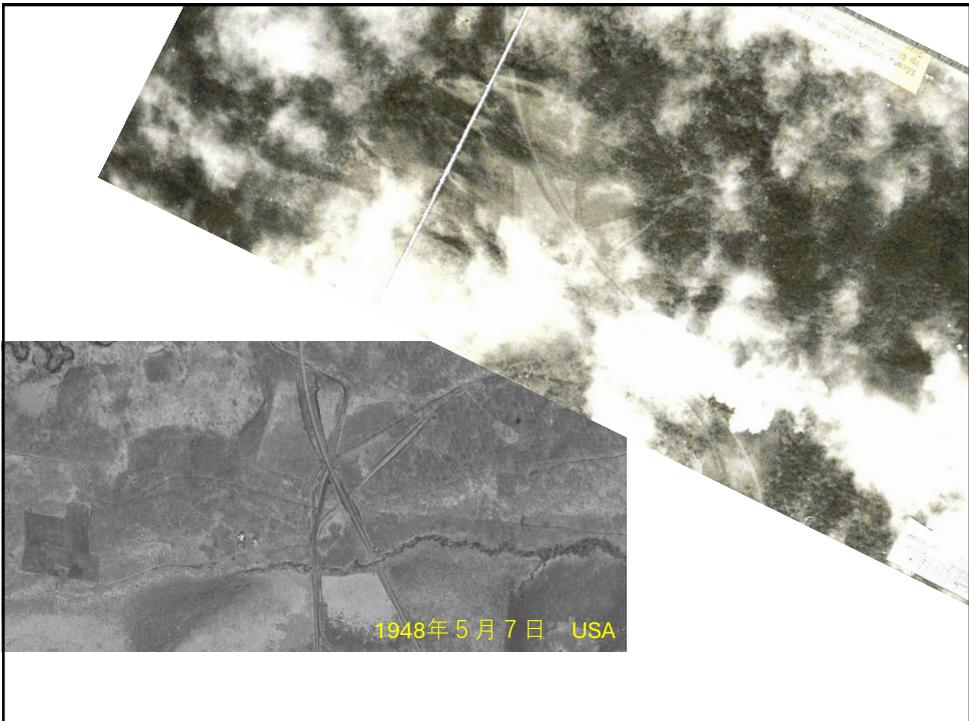
場所…床丹三の川 (ほぼ確実)
時刻…5:45~7:00の間 6時45~50分の可能性
 どのように…1発は北北東低い位置から銃撃
 機関車に命中、2機が旋回し12.7mm機銃で機銃掃射を行う

アメリカ軍 北海道空襲の報告書「Action Reports」 1枚の写真



VBF-6分隊 計根別の東10マイルで機関車を爆破した

(2) locomotive, Hokkaido	2	Strafing	Yes	Destroyed
16 small boat, Hokkaido	VBF-6 & VBF-6	Strafing	Yes	Serious, Burnt



銃撃場所と時刻・状況の証言比較				
	語り継ぐ 北海道空襲	道東学序説	聞き取り	アメリカ 報告書
証言者	馬籠正之さん(駅手)	菅原タエさん(住民)	藤倉弘さん(乗客)	
証言による 場所	春別駅から3~4キロ	春別駅から3キロ (十多郎川付近)	春別駅から7~8キロ (床丹三の川付近)	
目撃場所	春別駅	春別駅	列車の中	
機関車	蒸気タンクが破れて、吹き出す音が駅まで聞こえた	蒸気タンクが破壊し蒸気が飛び散った。	春別側で銃撃、その後、鉄橋付近で停止した	別海の機関車(破壊、機関車一両が爆発)
時刻	中標津発厚床行の列車	朝の10時過ぎだった		5:45(空母から1時間45分)帰還が8:30なので、6:45から7:00頃には空母に帰還と考える
状況	敵機の攻撃を受け機関車が狙われた	西春別方面から来たグラマンの機銃掃射を受けた	(東側を指さして)雲から出た瞬間に降りてきた	VBF-6(F4U-4 コルセア) 2機

場所……床丹三の川橋梁(中春別側で被弾 橋を過ぎて停車)
時刻……6:40~6:50の間
どのように…1発は北北東低い位置から銃撃
機関車に命中、2機が旋回し12.7mm機銃で機銃掃射を行う

「別海・標津線空襲は、7月14日午前6時40分頃、中春別を発った混合40列車が、床丹三の川に架かる鉄橋付近で北東方向から急降下してきた2機のヴォード・コルセアの低空からの機銃掃射にあい、平野機関士が殉職した。C12型機関車は大破した。」

現在
床丹三の川鉄橋は以下の通り文化遺産として保存されています。

認定区分 有形文化財
 かな名称 きゅうこくてつしべつせんとこたん3のかわてつきょうべいぐん
 くうしゅうあと
 認定年月日 平成30年2月28日
 所在地 別海町別海18番41先

謝辞

2017年に田中まことさんから1通のメールが届き、米軍により作成された戦闘行動調書 米国国立公文書館蔵 Record Group 38, 370/44/25/7: Box 342の提供を受けました。その後、米軍により撮影された機関車銃撃現場写真:米国国立公文書館蔵 Record Group 38, 370/44/25/7: Box 342の提供を受け、さらに状況の把握が進むことができました。8年が経ち、やっとまとめることができたことに心より感謝申し上げます。

参考文献

- 菊地慶一（2007）語り継ぐ 北海道空襲,北海道新聞社,pp335～337
- 根室空襲研究会編（1993）,根室空襲,根室空襲研究会,pp254,255,394,395
- 釧路戦災記録会(1989),改訂版 釧路空襲, 藤プリント,pp55-87,p132.
- 別海町百年史編さん委員会（1978）,別海町百年史,大日本印刷(株),p492
- 松浦総三(1980),日本の空襲< 1 > 北海道・東北,三省堂,p1-12.
- 菊池慶一(1995)北海道空襲 一九四五年七月十四・十五日の記録,北海道新聞社,p315-331
- 菅原真一（2008）,道東学序説, 道東文化を語る会,pp253-272
- なかしべつ町郷土研究会（1975）, 草に埋もれた飛行場 郷土を語る集い,なかしべつ町郷土研究会, pp1-53
- 山本竜也（2011）, 北海道空襲被害者名簿,p146.
- 大成50年誌編纂委員会（1980）,みちのり, アート印刷,p28
- 釧路鉄道管理局（1967）,釧路鉄道管理局史,須田製版,p154.
- 根室管内1市4町（1990）, 空襲で機関士殉職,彩雲鉄道・標津線の五十六年,総合企画（株）,p142,p287
- 歴史の真相研究会(2014),世界の戦闘機完全網羅カタログ,宝島社,p102